



2019年4月1日

産学連携の取り組みについて

コンバーティングの生産現場では、ウェブ原反はもとより、塗工剤、ラミネート材料をはじめとする加工素材の多様化、材料価格の高騰、生産そのものの高速化・広幅化、より厳しい加工精度、より多機能化する加工要求をはじめ、様々な課題が突き付けられています。こうした中、コーティング、ラミネーティング、プリンティングといった加工技術に比べ、これまであまり関心が向けられていなかったロール・トゥ・ロールの搬送、巻出・巻取といった『ウェブハンドリング』技術への注目が高まっています。

弊社はウェブハンドリングの研究で世界的に有名な、橋本巨・東海大学元教授の全面的なご支援の下、また、コンバーター、コーターメーカー、ラミネーター/グラビア印刷機メーカー、スリッター/リワインダーメーカー、ウェブ検査装置・システムメーカー、制御システムメーカーの賛同を得て設立された「ウェブハンドリング技術（WHT）研究会」に参加して製品開発に役立てております。

ロール・トゥ・ロール プロセス（例）

